



代表取締役社長

酒井 保幸氏



石原ケミカル本社

法人概要

所在地	〒652-0806 神戸市兵庫区西柳原町5の26
設立	1939年3月3日
事業内容	化学製品・工業薬品の製造販売
資本金	19億8087万円
売上高	190億3668万円（2022年3月期連結）
従業員数	269人（23年3月31日現在）
社・店・課	東京支店、滋賀工場、神戸工場、台湾支店、タイ駐在員事務所
関係会社	キザイ(株)、石原化美(上海)商貿有限公司
ホームページ	https://www.union.co.jp/

前期（2023年3月期）の業績は、「表面の機能を創造するをコンセプトに、金属表面処理剤および機器等▽電子材料▽自動車用化学製品等▽工業薬品」の4事業を展開しています。前期の上半期は電子部品をはじめとするめっき液や電子材料が好調でしたが、下半期は電子部品関連の生産調整の影響を受け減速しました。ただ、過去最高の売り上げは達成できそうです。今期は、生産調整の影響が薄

れる下期にかけて復調を見込んでおり、前期よりさらに高い目標を掲げて臨みたいと考えています。

―研究開発面での注力は、

自動車補修市場に加え、新車の生産用が視野に入っています。また、ラインでも採用され、エアコン洗浄剤は東アジアなど海外市場の開拓に注力しています。銅めっきは、

銅ナノ粉は、抗菌・抗ウイルス、電磁波シールド、放熱材の用途で開発に取り組んでいます。今期中

創造と挑戦前進続ける

以前から、各事業で隣接分野、新地域に挑むプラスチック計画を推進してきました。自動車の仕上げ塗装に使うコンパウンドは自

より高付加価値なパッケージ基板向けの開発を進めており、導電性銅ナノインクは、海外市場においてRFID（ICタグ）用途で採

に神戸市西区にある神戸工場、めっき用添加剤の合成設備を増設

―従業員の士気を高める取り組み

物価の高騰を受け、昨年12月に社員の基本給を一律で5千円ベースアップ。この4月には、定期昇給を行うとともに、さらに基本給を平均で2千円ベースアップしました。今後は、優秀な人材獲得のためにも当社の認知度を高めていかなければならないと考えており、JR新神戸駅に加え、滋賀工場の最寄り駅であるJR近江今津駅に広告看板を掲示したところで